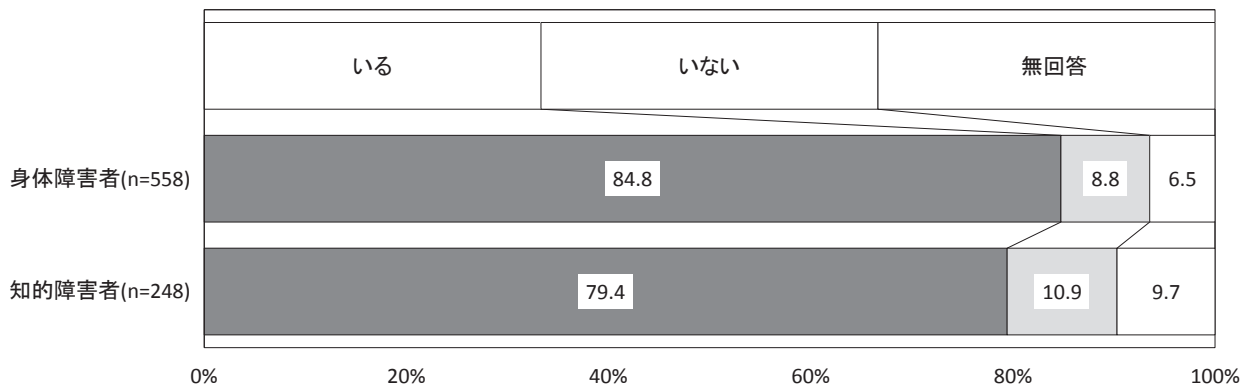


## 7 健康状況や医療について

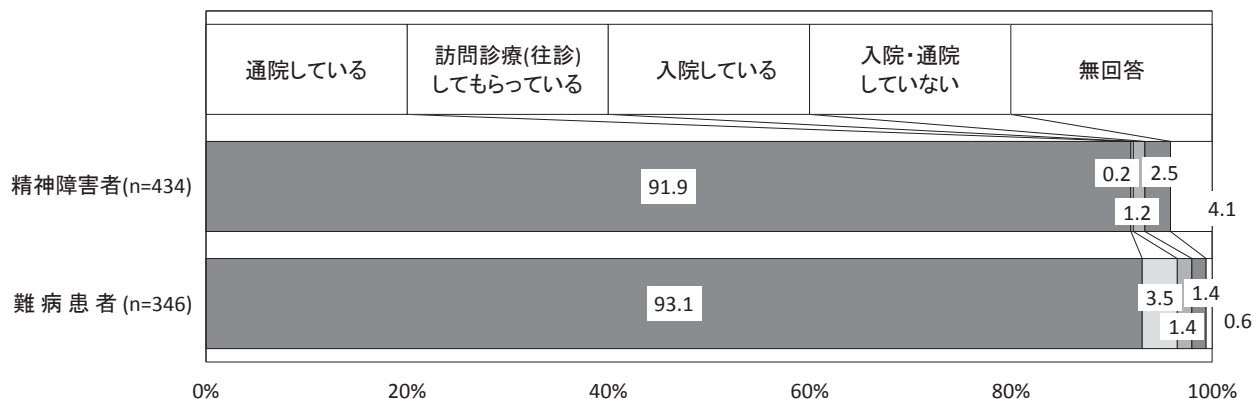
### (1) かかりつけ医の有無

かかりつけ医が「いる」人は、身体障害者が84.8%、知的障害者が79.4%となっている。



### (2) 医療の受診形態

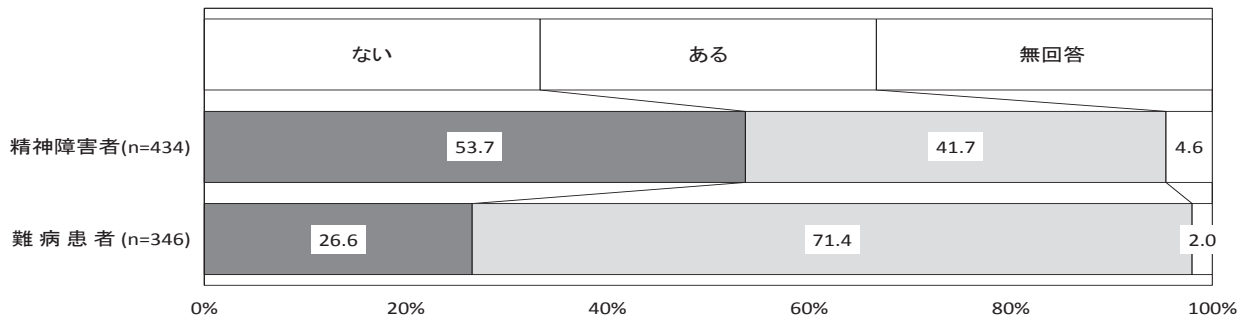
精神障害者は自立支援医療制度（精神通院）利用者、難病は難病医療費助成利用者を調査対象としているため、医療の受診形態で「通院している」人は、精神障害者が91.9%、難病患者が93.1%となっている。



### (3) 入院歴の有無と入院期間

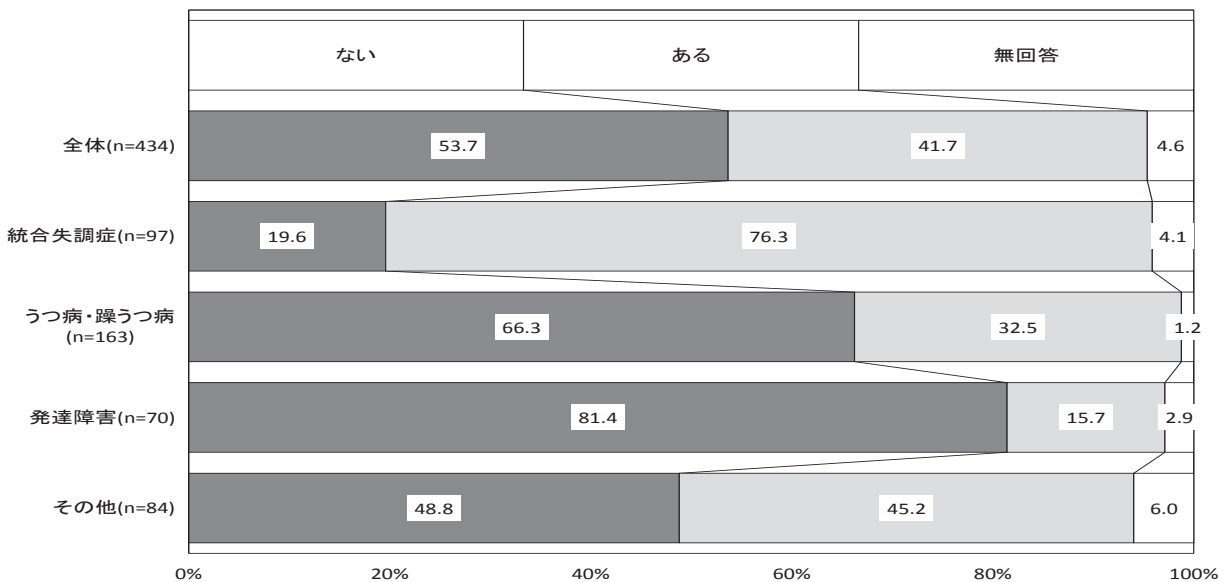
#### ① 入院歴の有無

精神疾患、難病疾患の入院歴が「ある」人は、精神障害者が 41.7%、難病患者が 71.4%となっている。



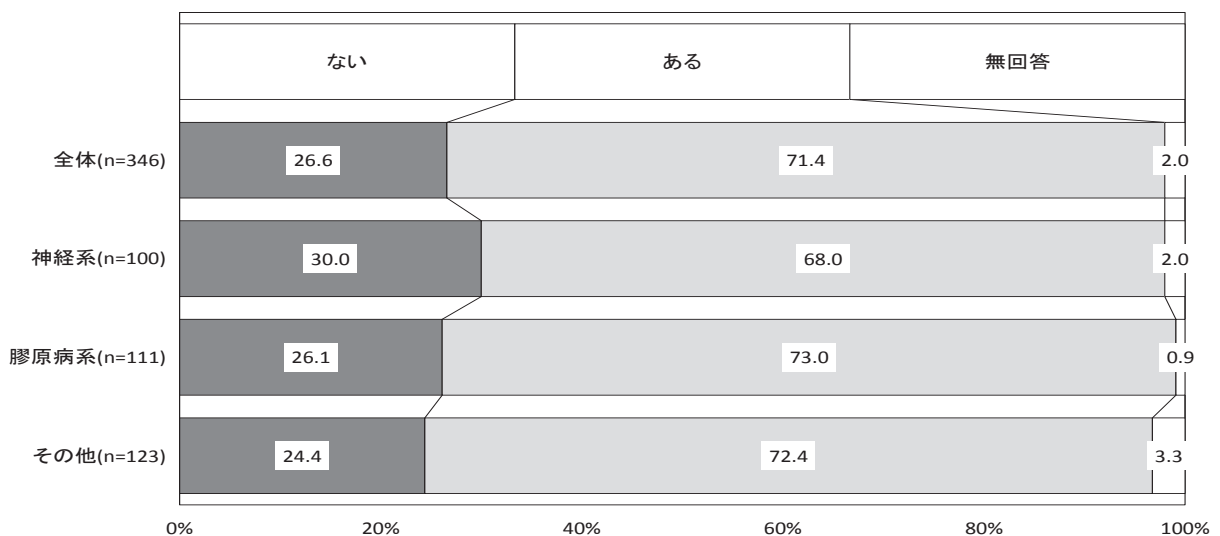
#### 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「ある」(76.3%)が多くなっている。



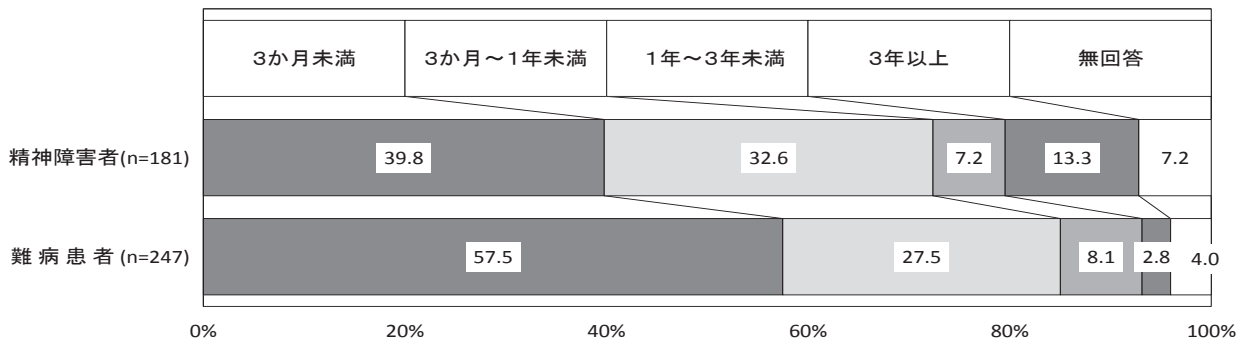
#### 【難病患者】

疾病系統別にみると、ほぼ全体と同様の傾向を示している。



## ② 入院期間

入院歴が“ある”と回答した人の入院期間は、精神障害者、難病患者ともに「3か月未満」が多くそれぞれ39.8%、57.5%となっている。

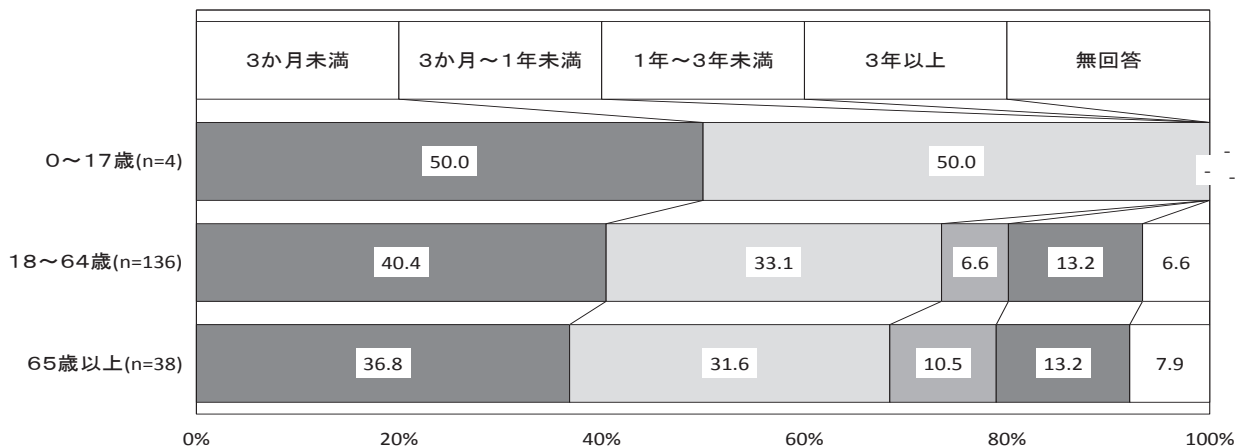
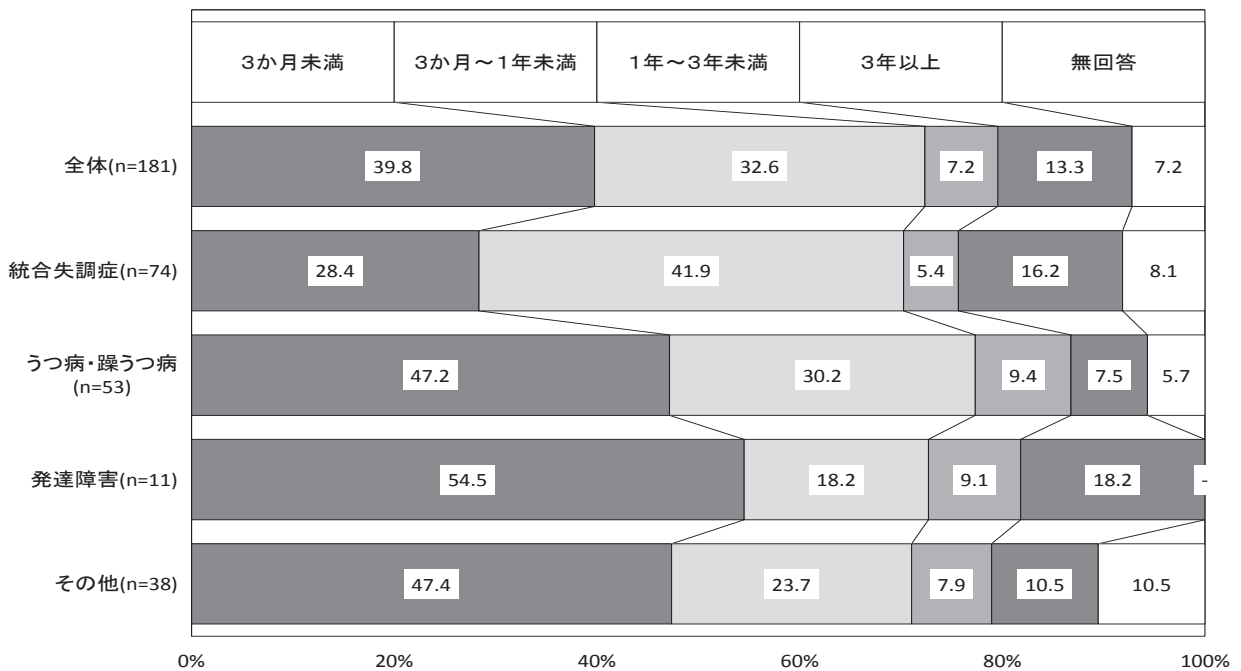


※ベース：入院歴あり

### 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「3か月～1年未満」（41.9%）、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「3か月未満」（47.2%）がそれぞれ多い。

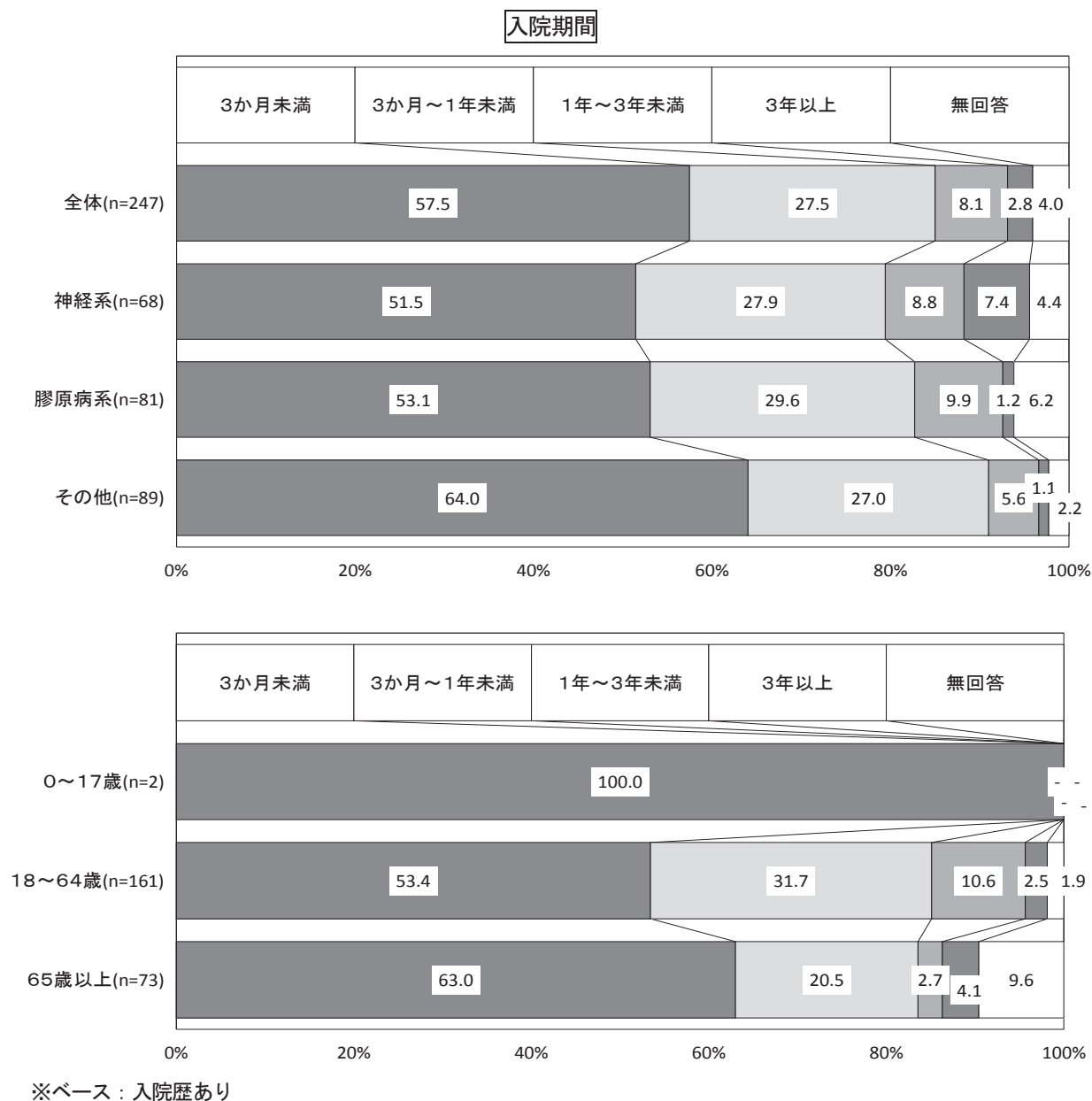
年齢3区分別にみると、18～64歳、65歳以上では全体とほぼ同様の傾向を示している。



※ベース：入院歴あり

## 【難病患者】

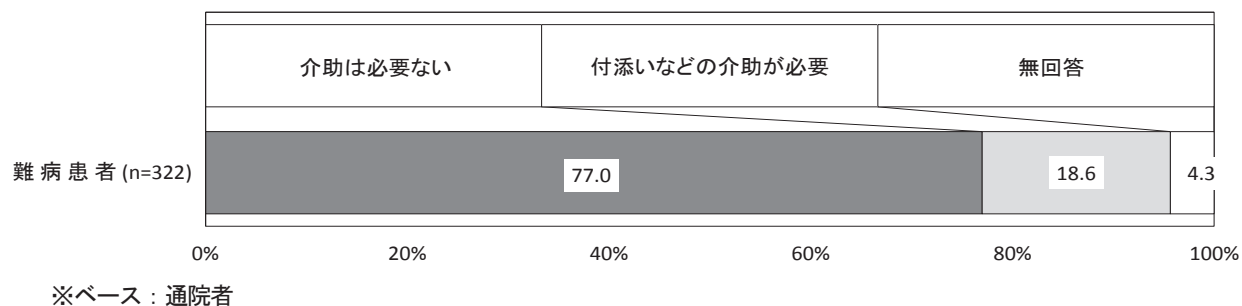
疾病系統別にみると、神経系、膠原病系ともにほぼ5割が「3か月未満」となっている。  
年齢3区分別にみると、18～64歳の約5割が「3か月未満」となっている。



## (4) 通院する際の介助の必要性（難病患者のみ）

難病患者の医療の受診形態で“通院している”と回答した人の通院する際の介助の必要性は、「介助は必要ない」が77.0%、「付添いなどの介助が必要」が18.6%となっている。

なお、神経系では「付添いなどの介助が必要」が多くなっている。



## (5) 健康管理や医療で困ったことや不便に感じたこと（複数回答）

健康管理や医療で困ったことや不便に感じたことは、いずれも「特に困っていることはない」が最も多く4割を超えている。

次いで、身体障害者は「休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない」（12.0%）、知的障害者は「障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」（13.7%）、精神障害者、難病患者は「医療費の負担が大きい」（それぞれ16.1%、19.3%）となっている。

（単位：％）

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=332)
特に困っていることはない	46.4（1位）	41.9（1位）	41.5（1位）	44.4（1位）
近所に診てくれる医師が少ない	8.1	7.7	12.0	14.0（3位）
専門的な治療を行う医療機関がない	5.7	10.9（3位）	7.4	11.2
通院や健康診査のときに付き添いがいない	2.7	1.6	5.8	3.1
往診を頼める医者がいない	7.5	4.8	5.5	5.0
定期的に健康診査を受けられない	1.6	1.2	4.4	1.9
医療機関とのコミュニケーションがとれない	3.4	7.7	7.8	3.4
障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	4.1	13.7（2位）	8.5	5.9
受診手続きなど、障害のある人への配慮が不十分	6.6	6.0	7.6	6.2
医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造になっていない	5.9	1.2	5.3	4.3
医療費の負担が大きい	11.3（3位）	7.7	16.1（2位）	19.3（2位）
休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない	12.0（2位）	10.1	14.3（3位）	11.2
その他	5.9	8.9	10.4	9.0
無回答	15.4	14.5	11.5	9.3

※難病患者のベース：通院患者

## 【前回調査との比較】

（単位：％）

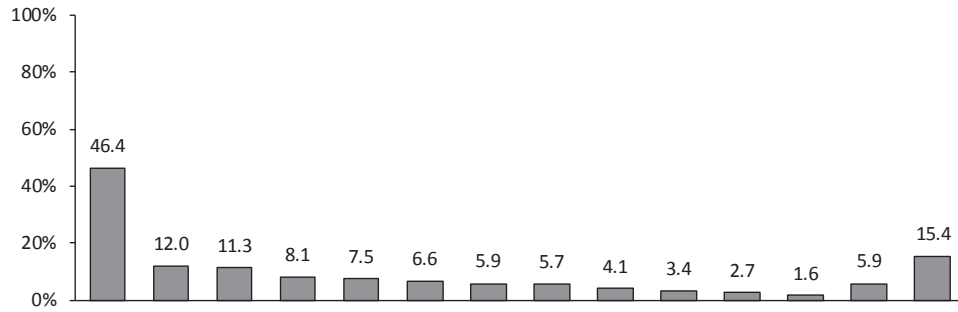
区 分		1 位	2 位	3 位
身体 障害者	今 回 (n=558)	特に困っていることはない (46.4)	休日・夜間の相談や治療をして くれる医療機関が少ない (12.0)	医療費の負担が大きい (11.3)
	前 回 (n=2,064)	特に困っていることはない (39.8)	医療費の負担が大きい (13.6)	専門的な治療を行う医療機 関がない (5.8)
知 的 障 害 者	今 回 (n=248)	特に困っていることはない (41.9)	障害のために症状が正確に 伝わらず、必要な治療が受け られない (13.7)	専門的な治療を行う医療機 関がない (10.9)
	前 回 (n=350)	特に困っていることはない (34.9)	障害のために症状が正確に 伝わらず、必要な治療が受け られない (13.4)	専門的な治療を行う医療機 関がない (10.3)
精 神 障 害 者	今 回 (n=434)	特に困っていることはない (41.5)	医療費の負担が大きい (16.1)	休日・夜間の相談や治療をして くれる医療機関が少ない (14.3)
	前 回 (n=311)	特に困っていることはない (30.2)	医療費の負担が大きい (20.9)	医療機関とのコミュニケー ションがとれない 近所に診てくれる医師がい ない (ともに9.3)

**【身体障害者】**

障害の程度別にみると、軽度（5・6級）の人ほど「特に困っていることはない」が多くなっている。

障害の種類別にみると、視覚障害では「往診を頼める医者がいない」（13.5%）、聴覚障害では「障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」（9.8%）、肢体不自由（上肢、下肢等）と肢体不自由（体幹）では「休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない」（それぞれ22.5%、20.8%）が多くなっている。

**健康管理や医療で困ったことや不便に感じたこと**



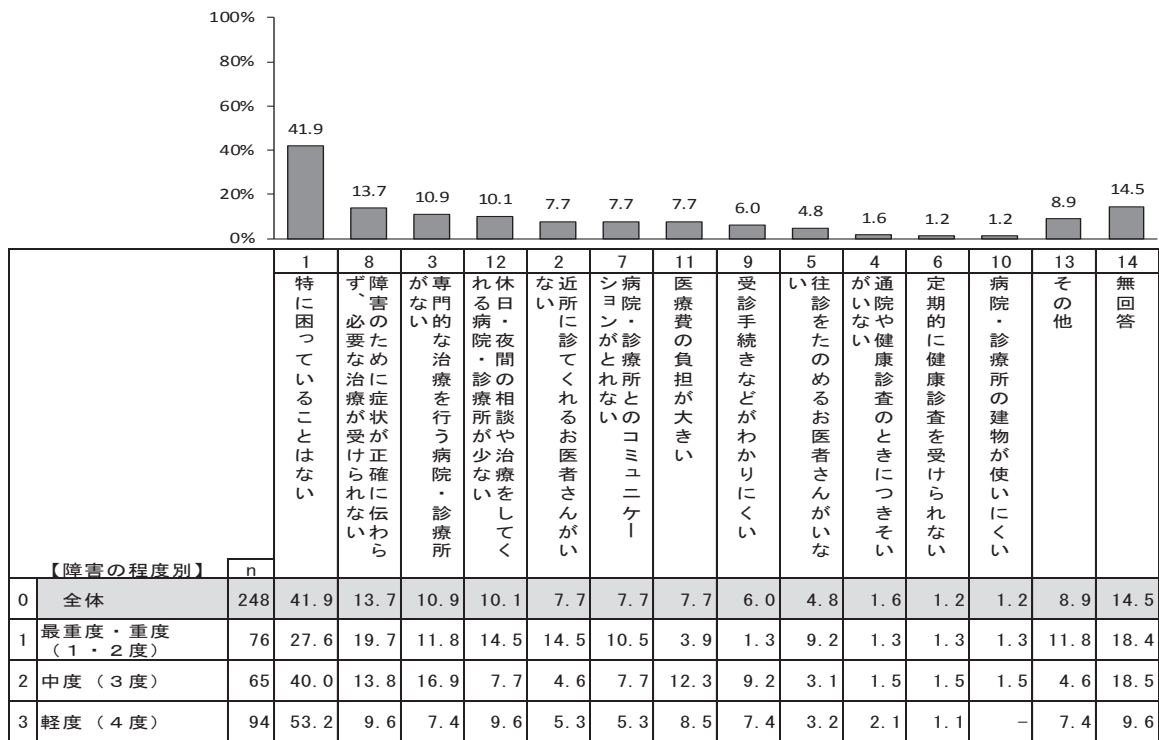
【障害の程度別】	n	1	12	11	2	5	9	10	3	8	7	4	6	13	14
		特に困っていることはない	休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない	医療費の負担が大きい	近所に診てくれる医師がいない	往診を頼める医者がいない	受診手続きなど、障害のある人への配慮が不十分	医療機関の建物や設備が障害のある人に配慮されていない	専門的な治療を行う医療機関がない	障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	医療機関とのコミュニケーションがとれない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	定期的に健康診断を受けられない	その他	無回答
0 全体	558	46.4	12.0	11.3	8.1	7.5	6.6	5.9	5.7	4.1	3.4	2.7	1.6	5.9	15.4
1 重度（1・2級）	307	44.6	15.3	9.1	9.1	9.8	7.5	9.1	6.8	4.2	3.6	2.3	1.6	5.5	14.3
2 中度（3・4級）	173	46.2	7.5	13.9	6.4	5.2	6.4	2.3	5.2	4.0	3.5	4.0	1.2	7.5	16.8
3 軽度（5・6級）	63	52.4	9.5	14.3	6.3	3.2	4.8	-	1.6	3.2	1.6	-	1.6	4.8	17.5

【障害の種類別】		1	12	11	2	5	9	10	3	8	7	4	6	13	14
障害の種類	n	特に困っていることはない	休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない	医療費の負担が大きい	近所に診てくれる医師がいない	往診を頼める医者がいない	受診手続きなど、障害のある人への配慮が不十分	医療機関の建物や設備が障害のある人に配慮されていない	専門的な治療を行う医療機関がない	障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	医療機関とのコミュニケーションがとれない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	定期的に健康診断を受けられない	その他	無回答
1 視覚障害	89	44.9	6.7	11.2	10.1	13.5	9.0	9.0	5.6	2.2	3.4	3.4	2.2	4.5	19.1
2 聴覚障害	92	47.8	8.7	6.5	4.3	3.3	5.4	2.2	4.3	9.8	8.7	-	2.2	7.6	20.7
3 平衡機能障害	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	18	50.0	-	22.2	-	5.6	11.1	-	5.6	16.7	5.6	-	-	11.1	16.7
5 肢体不自由（上肢、下肢等）	138	39.9	22.5	15.2	9.4	11.6	11.6	10.9	8.0	4.3	2.2	3.6	2.2	5.8	8.7
6 肢体不自由（体幹）	48	41.7	20.8	10.4	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	4.2	2.1	8.3	2.1	4.2	8.3
7 内部障害	136	53.7	8.1	11.0	10.3	2.9	1.5	2.2	2.2	0.7	1.5	2.2	0.7	6.6	14.7
8 その他	14	42.9	-	7.1	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-	35.7

## 【知的障害者】

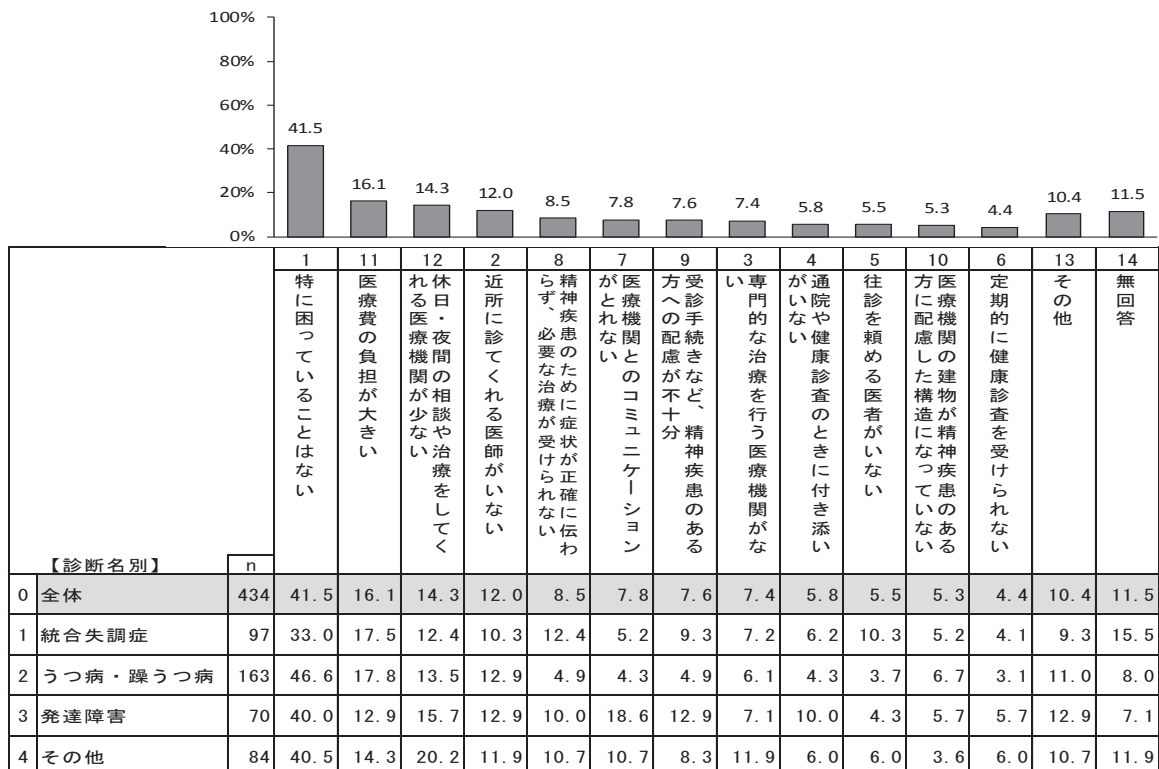
障害の程度別にみると、いずれも「特に困っていることはない」が多くなっている。

健康管理や医療で困ったことや不便に感じたこと



## 【精神障害者】

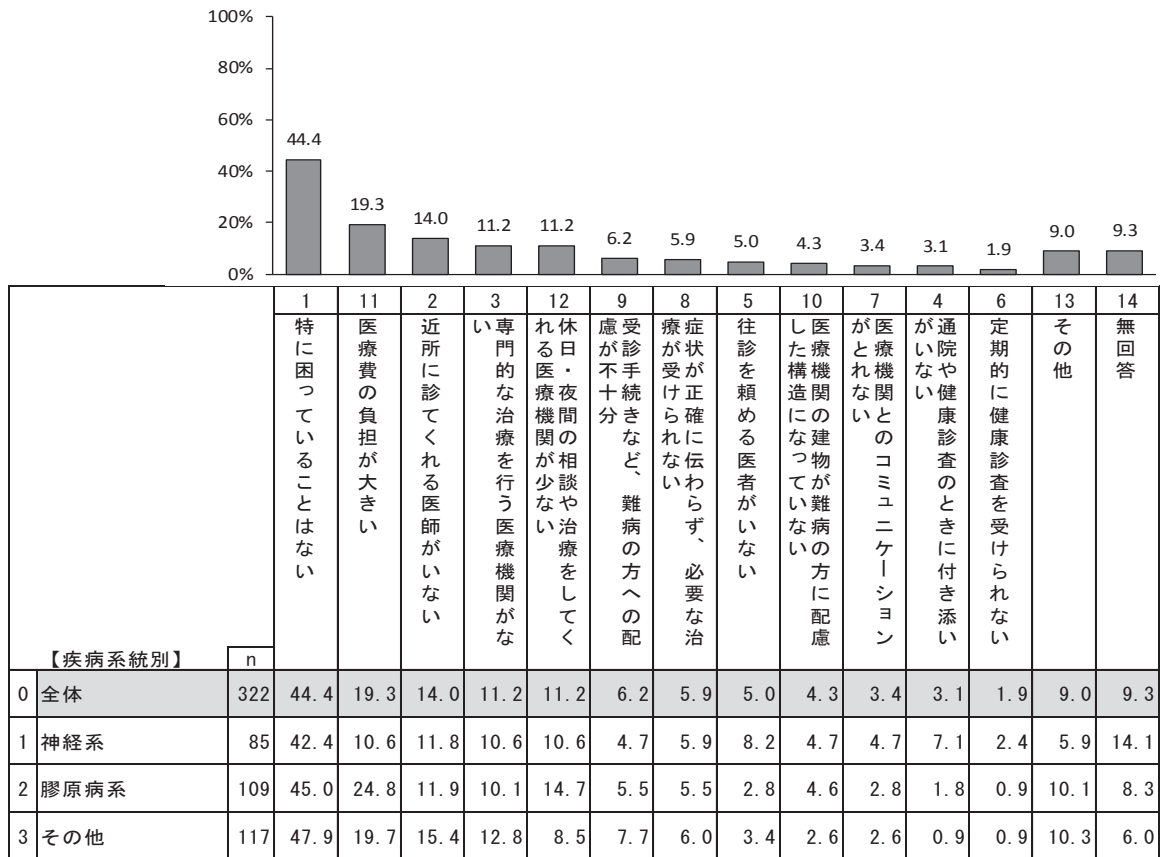
診断名別にみると、いずれも「特に困っていることはない」の割合が高くなっている一方、発達障害と診断されている人では「医療機関とのコミュニケーションがとれない」（18.6%）が多くなっている。



**【難病患者】**

疾病系統別にみると、膠原病系では「医療費の負担が大きい」が多く 24.8%となっている。

健康管理や医療で困ったことや不便に感じたこと



※ベース：通院患者